

ARAI NEWS



みなさんアライレーシングスクールをご存じですか。1983年に現校長の神谷忠さんの発案によりスタートした日本初のMFJ公認のロードレーサー向けレーシングスクールの名称です。今回は9シーズンを向かえたこのアライレーシングスクールの1日をレポートします。

~~~~~  
 講義が終わると、全日本選手権と同じオフィシャルにより、厳しく車検が実施されるので、受講生全員がメカニック同伴でマシンチェックに集中します。

~~~~~  
 午後になると、いよいよサーキットを使っての実技講習です。アライレーシングスクールの目的は、8年前にスタートした当初から、フレティー・スベンサーのように、スハッと止まり、一気に倒し込み、ヒサをチョンと当てるようにして向きを変え、スロットルを全開にして素早くコーナーを抜けるようになることです。まず行われるブレーキング集中トレーニングでは、筑波サーキットの場合、バックストレートをスタートとして最終コーナーからメインストレートをレーススピードと同じ全開で走り抜け、第一コーナーへ飛び込む位置で、フルブレーキングをしてマシンが停止するまでの限界を確かめます。みるみる迫ってくるコーナーに突っ込む時は、どうしてもマシンの限界よりも、ライダーの恐怖の限界が先にくるために、コーナーへの突っ込みが甘くなってしまいます。このブレーキ

~~~~~  
 シング集中トレーニングを反復することにより、マシンの限界を体で覚え、受講生の恐怖の限界がマシンの限界を上回ることにより、安全でしかも鋭い突っ込みが可能になっていくのです。このブレーキング集中トレーニングの後、コーナーリング集中トレーニング、周回走行と移っていくわけですが、この周回走行中にも、各コーナーには、主任講師の神谷忠氏、清原明彦氏、福田照男氏、その他のインストラクターが受講生のチェックに立ち、問題点のある受講生はその場で止められ、アドバイスを受け、無駄のない、目的を持った走行講習が受けられるのです。

~~~~~  
 4時になると実技講習も終了し、閉校式となりますが、アライレーシングスクールの特徴は、この閉校式の後に、講師陣が受講生に取り囲まれ、質疑応答が自然のうちに始まってしまうことです。受講生の熱心さと同時に、閉校後2時間以上も質問に応じている講師陣にも頭が下がる思いです。

~~~~~  
 そもそもアライがこのレーシングスクールに賛同したきっかけは、世界のトップを狙うライダーを少しでも応援したかったからです。この8年間の間に、日本のレースのレベルも大きく上がり、スクールの受講生の中にも目を見張るようなライティングをする受講生も増えています。アライは、バイク好きの集まりです。世界の情熱に日の丸が上がるまでこのレーシングスクールを応援し続けます。ご期待ください。



~~~~~  
 アライレーシングスクールは朝8時30分の受付から開始されます。受講生は、レース経験やこれからレースに参加する予定のある国内B級以上のライセンスを持つ人に限られています。少しでも速くなりたいと意欲を持つ若者ばかりですから、受付開始よりずっと前に集まり、マシンチェックに余念がありません。

~~~~~  
 午前中は講義です。まず受講生にとっては、すでに常識として知っていなければならないサーキット内でのマナーやルールを再度説明し、このマナーやルールが速く走るためになぜ必要なのかを理解してもらいます。そして、ブレーキングやコーナーリング、走行ラインの理論を分かりやすく解説し、なぜタイムが上がらないか、なぜ転倒するかなど、理論を徹底的に頭に叩き込まれていきます。机に座っての勉強が得意な受講生ばかりには見えませんが、同じ目的を持ったライダー同志。その内容に次第に目つきがかわり、真剣に関心入っているの、見ているほうが驚いてしまうほどの熱気を感じます。



## アライレーシングスクール'91

●日程その他のお問い合わせは  
 〒110 東京都台東区北上野1-11-7 綿貫ビル1F  
 ゴールプロジェクト内 アライレーシングスクール事務局  
 TEL (03) 3847-5291



(株)アライヘルメット  
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12  
 TEL (048) 641-3825~7